新宿区個人情報保護管理運営会議（第1回）概要

開催日時・場所

令和7年4月18日（金） 午前9時30分～午前10時00分
本庁舎3階 庁議室

出席会員等

寺田副区長（会長）、総合政策部長（副会長）、総務部長、子ども家庭部長、都市計画部長、教育委員会事務局次長、総合政策部区政情報課長、情報戦略課長

《 議事概要 》

1 審議内容

新宿区個人情報保護管理運営会議の組織及び運営に関する要綱第3条第3号に掲げる事項

【審議事項】

- (1) L o G o フォームの利用に係る外部結合について（手続の追加）
⇒ 承認
- (2) 新宿区職員エンゲージメント向上等支援に係る業務の委託について
⇒ 承認
- (3) 新宿区職員ストレスチェックに係る業務の委託について（委託内容の変更）
⇒ 承認
- (4) 令和7年度新宿区防犯機器等購入緊急補助事業に係るシステムの開発等について
⇒ 承認
- (5) 児童手当制度事業に係る支払通知書等への印字及び封入封緘業務の委託について
⇒ 承認
- (6) 建築確認台帳の基礎データ整備に係る業務の委託について
⇒ 承認
- (7) 児童・生徒の健全育成に関する警察と新宿区立学校との相互連絡制度の協定に基づく外部提供について
⇒ 承認

【報告事項】

児童・生徒の健全育成に関する警察と新宿区立学校との相互連絡制度の協定に基づく外部提供について（報告）

【サイバーセキュリティに関する専門的な知見を有する者からの主な助言】

運用上及びシステム上の情報保護対策について、サイバーセキュリティに関する専門的な立場から、以下のような助言を受け、反映した。

- ・職員ストレスチェックに係る業務の委託については、個人情報の取り扱いとなるため、その取り扱いに違反すると、労働安全衛生法上で罰則が適用される事を職員等へ周知すること。

- ・建築確認台帳の基礎データ整備に係る業務の委託については、委託先でスキャンする機器がインターネットに接続されていないことを確認すること。接続している場合には、そのセキュリティ対策を確認すること。

【発言】

- ・審議事項（４）について

- ・会長（寺田副区長）： 防犯機器等購入緊急補助事業の実施にあたり、LoGo フォームでの申請内容を区の職員ではなく、委託事業者が受け付けて処理するようだが、アクセス制限など、個人情報の漏洩がないようなどのような対策を行っているのか。

- ・区政情報課長： 委託事業者による LoGo フォームへのアクセスは、特定の IP アドレスが付与された端末のみに限定されており、委託事業者の拠点以外の場所やスマホ等からの利用は制限されており、処理も必要最小限の人数に限って行うようにします。

また、委託事業者の業務パソコンについては、それぞれの操作ログが記録され、区に定期的なログの報告を行い、契約終了後は、個人情報を廃棄し、廃棄の証明を提出させることとなっています。

- ・審議事項（６）について

- ・総合政策部長： 個人情報の流れを見ると、事業者は建築確認申請受付簿について、スキャンしたデータで照合作業を行うが、建築計画等概要書については紙で照合を行うこととしている。この二つの違いはどのようなところにあるのか。

- ・区政情報課長： 台帳記載事項証明の申請は一日 20 件程度あり、申請があった場合、紙の建築確認申請受付簿（原本）と建築台帳データ（Excel）を確認して証明書を発行するため、窓口で原本をそろえておく必要があります。このため、事業者は、スキャンし PDF 化したもので照合作業を行います。

また、建築確認申請受付簿は 1 簿冊当たり 1000～2000 件程度の情報が載っているため、建築台帳データとの照合に時間がかかります。そのため、PDF 化したものを照合に使用することで、複数人での照合作業を行うなど、作業の効率化及び正確性の向上を図ることができません。

一方で、建築計画等概要書は、1 簿冊当たり 50 件程度であり数が少ないこと、またすでに電子データ化（GIS に取り込み）されており窓口で紙の原本を確認する必要がないことから、スキャン作業は行わずに、概要書原本により照合作業を行います。